

令和2年度行政評価 事務事業評価シート(令和元年度実績)

事務事業コード	020104030	予算コード	01050500	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	小学校介助事業	正規職員数	0.35	国庫支出金	676	有効性	A	介助が必要な児童生徒は年々増加している。様々なケースがあるためきめ細やかな充実した介助が必要なため。	
担当課	学校教育課	嘱託職員数	0	府支出金	284	効率性	B		
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0.1	市債	0	妥当性	B		
	■要綱・要領	歳出(千円)		その他	0	受益者負担	該当なし		
	泉佐野市人権教育の基本方針	人件費総額	3,039	一般財源	90,915				
				減価償却費	0				
				事業費	88,836				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)		91,875	緊急性		C	事務事業実施内容	
実施手法	市直営	市民1人当りコスト(円)		913				介助員の配置	
対象		活動指標		R元実績	公的関与		A		
特定の市民		対象数	226		障がい児介助員		83.0		
小学生の要介助児童					外国人介助員		7.0		
事業の内容					実施主体・委託化		A		
小学校介助事業として以下のように実施している。					他の事務事業との関連		A		
①障がいのある子どもに対する介助					成果指標		R元実績		
②介助については、身辺自立ができない、安全確保が困難である等、教育的配慮の要する子どもに対しての措置					要介助障がい児		213.0		
③外国からの転入生による受入のため、通訳の配置					要外国人介助者		13.0		
					財政健全化計画		該当なし		
					財政健全化の取組		該当なし		
事業の目的		コスト指標		R元実績	改革改善プラン達成度		該当なし		
障がい等で配慮の要する子どもへの身辺介助等をする。		介助者一人当たり経費		406,526.5					